

令和5年度「第3次青森県子ども・若者育成支援推進計画」関連事業一覧

【基本目標Ⅰ】 子ども・若者のたくましく健やかな成長に向けた支援

重点目標2 社会的・職業的自立に必要な能力を育成します

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R4 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	令和4年度の取組状況	令和5年度の主な事業内容	施策の 方向性等	
				2	1	2	1								
1	総務部	総務学事課	職業・ボランティア・文化等の体験活動の推進事業（特色教育支援経費補助）	2					継続	5,700	4,420	キャリア・職業教育の推進のため、資格取得の支援や多様な職業体験に要する経費について、4法人4校に対して補助金を交付した。	キャリア・職業教育の推進のため、資格取得の支援や多様な職業体験に要する経費に対し、補助金を交付する。	2①②、3①	
2	企画政策部	地域活力振興課	「夢のカタチ」形成事業 【重点目標1に再掲】	1	2				継続	4,141	5,312	高校生が明確な職業意識を持つきっかけとするため、県内の先輩社会人を講師とする「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校12校で開催した。（参加生徒数1,776名） 中学生を対象に、発想力と創造力を磨く「未来ひらめき創造塾」を2泊3日で開催し、38名が参加した。 福岡県で開催された「日本の次世代リーダー養成塾」に本県の高校生11名が参加した。	引き続き、「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校（5校程度）で開催する。 引き続き、中学生を対象に、発想力と創造力を磨くサマーセミナー「未来ひらめき創造塾」を開催する。 「日本の次世代リーダー養成塾」への本県高校生の派遣（10名程度）を継続する。	1④、3①	
3	企画政策部	DX推進課	IT政策推進事業（ユビキタス出前授業）（～R4年度 新産業創造課）	2					新規	-	993	-	小学生を対象とした最先端のデジタル技術を体験してもらう出前授業を開催する。		1②
4	環境生活部	県民生活文化課	消費者教育事業（消費生活センター委託事業） 【重点目標14に再掲】	2	14				継続	1,271	1,271	市町村、社会福祉協議会、学校、消費者グループ等からの依頼により、講師として消費生活相談員等を派遣して消費生活に関する講座を71回実施した。（3,589名参加）	市町村、社会福祉協議会、学校、消費者グループ等からの依頼により、講師として消費生活相談員等を派遣し、消費生活に関する講座を開催する。		2①
5	環境生活部	県民生活文化課	学校における消費者教育推進事業（消費者行政推進事業） 【重点目標14に再掲】	2	14				継続	2,825	2,825	県内7大学と連携し、学生自身による消費者教育活動への主体的取組を支援するとともに、学生による消費生活フェスタを開催した。 高等学校の教員等で構成する検討委員会を計5回開催し、関係教科における実践事例等を検討・作成して県内各高等学校へ周知するとともに、弁護士及び司法書士を講師としたモデル授業を2回実施した。 特別支援学校全校において授業を実施するとともに、内容について検討するための運営検討委員会を3回開催した。 中学校の教職員を対象に、県内2地区（西北地区、上北地区）において消費者教育研修会を開催した。	県内7大学と連携し、学生自身による消費者教育活動への主体的取組を支援するとともに、学生による消費生活フェスタを開催する。 高等学校の教員等で構成する検討委員会を開催し、関係教科における実践事例等を検討・作成し、県内各高等学校へ周知するとともに、弁護士及び司法書士を講師としたモデル授業を実施する。 特別支援学校において授業を実施するとともに、内容について検討するための運営検討委員会を開催する。 中学校の教職員を対象に、県内2地区（下北地区、中南地区）において消費者教育研修会を開催する。		2①
6	環境生活部	県民生活文化課	高校生ファッションチャレンジ事業	2					継続	11,051	11,052	ファッション文化の振興を通じた人財育成、産業振興及び地域活性化を図ることを目的として例年開催している全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）は、オンライン及び有観客（300人）で開催した。	ファッション文化の振興を通じた人財育成、産業振興及び地域活性化を図るため、有観客による実施と併せ、Youtubeからのライブ配信を継続するなど、今の時代に合わせた発信を取り入れ、第22回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）の開催を支援する。		1④、2①②、3②
7	環境生活部	県民生活文化課	芸術文化出前教室開催事業	2					継続	898	898	芸術文化の鑑賞機会の充実、担い手の育成を図るため、県民文化祭に参加する15分野の芸術文化団体を学校や児童館などに派遣し、出前教室を実施した。（6分野、7か所）	芸術文化の鑑賞機会の充実、担い手の育成を図るため、県民文化祭に参加する15分野の芸術文化団体を学校や児童館などに派遣し、出前教室を実施する。		1④、2②

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R4 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	令和4年度の取組状況	令和5年度の実施内容	施策の 方向性等
8	環境生活部	県民生活文化課	青森県民文化祭開催事業	2					9,310	9,310	芸術文化活動の発表と鑑賞の場として、上十三地域において青森県民文化祭を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた分野別フェスティバル15分野のうち2分野が中止となった。(参加者7,238名)	芸術文化活動の発表と鑑賞の場として、東青下北地域において青森県民文化祭を開催する。	2②	
9	環境生活部	県民生活文化課	あおもり文化みらいびと育成事業	2				重点枠事業	5,718	-	東京藝術大学と連携し、地域の文化芸術素材を活かした芸術体験等プログラムで漁網作品を制作するとともに、制作した作品を繋ぎ合わせ、大型漁網作品を制作し、平内町において本作品を使った地引網漁体験を実施した。漁に使用した網を青森県立美術館で展示した後、県内の小学校及び高校において出前教室を開催し、網を再び植物繊維に戻し植樹を行うという体験活動を実施した。一連の活動を通して、子どもたちや県民が文化芸術に触れ、親しみ、感じるとともに、地域に対する誇りと愛着を育む機会を創出した。 ・漁網制作出前教室：県内小中学校7校、参加者延べ349名 ・漁網制作ワークショップ：県内6箇所、参加者延べ259名 ・地引網漁体験：試行参加者20名、本番参加者60名 ・あおもりJOMON GYOMOプロジェクト展：来場者611名 ・種入苧麻紙づくりワークショップ：参加者86名 ・あおもりJOMON GYOMOプロジェクトシンポジウム：参加者24名	-	1④	
10	環境生活部	青少年・男女共同参画課	青少年行政基礎調査事業 【重点目標1に再掲】	1	2				1,138	322	県内の小学生・中学生・高校生約1,200名を対象に、青少年の意識や行動の現状等を調査し、報告書(「青少年の意識に関する調査」)を作成・配付した。	本県の青少年の現状と課題を明らかにするとともに、関係行政機関における青少年に関する諸施策を取りまとめ、次代を担う青少年の健全育成に資するため、青森県子ども・若者白書を作成・配付する。	1①②、3①	
11	環境生活部	環境政策課	あおもり環境人財育成推進事業 【重点目標12に再掲】	2	12			重点枠事業	18,315	18,083	・県内3大学を拠点として、SDGsの考え方や将来の脱炭素社会の視点を有する若手環境人財の育成を推進するため講義や講演会、高校との連携授業を実施した。 ・環境活動以外の実践団体3団体が、清掃活動等の環境配慮行動をプラスして事業を実施し、小中学生とその家族等が参加した。	大学を拠点として、SDGsの考え方や将来の脱炭素社会の視点を有する若手環境人財の育成を推進する。 環境活動以外の実践団体が環境配慮行動をプラスして事業を実施することで、地域における環境配慮行動の拡大につなげる。	1③	
12	環境生活部	環境政策課	環境教育推進事業 【重点目標12に再掲】	2	12				1,980	2,067	・県内小学校49校で環境出前講座を93回開催し、2,111名の児童が環境に配慮した行動の実践方法等について環境教育プログラム(ゲーム形式)により学習した。 ・環境月間啓発イベントにおいて、こどもエコクラブが作成した壁新聞を掲示し、来場者に活動を紹介した。	小学校向け環境教育プログラムを活用した、環境教育専門員と地域のNPOとの協働による環境出前講座を開催する。 こどもエコクラブの活動を支援するため、こどもエコクラブのサポーター及びコーディネーターを対象とした研修会や随時の情報提供を行う。	1③	
13	環境生活部	自然保護課	県立自然ふれあいセンター管理運営事業(指定管理)	2					28,466	29,064	自然保護思想の普及を図るため、自然観察会、講習会、発表会等の各種行事を開催した。(33回開催)	自然保護思想の普及を図るため、自然観察会、講習会、発表会等の各種行事を開催する。	1③、2②	
14	環境生活部	自然保護課	白神山地ビジターセンター管理運営事業(指定管理)	2					68,954	75,371	自然保護思想の普及を図るため、自然体験事業(白神トレッキング10回)、文化継承事業(ネイチャースクール2回、ネイチャークラフト4回、写真展等9回)を実施した。	自然保護思想の普及を図るため、自然体験事業、文化継承事業を実施する。	1③、2②	
15	環境生活部	自然保護課	みんなで守る湿原保全活動推進事業	2				重点枠事業	4,242	-	ベンセ湿原及びその周辺での自然観察会の開催(5回)、保全活動体験会の開催(5回)、保全活動プログラム検討会の開催(5回)を実施した。	-	1③、2②	

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R4 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	令和4年度の取組状況	令和5年度の本事業内容	施策の 方向性等
16	健康福祉部	医療業務課	地域医療を担う人材育成事業	2					2,598	4,429	早期から地域医療を志す医師の育成・確保を進めるため、未来のあおもりを担う医療人材早期育成事業の一環として中高生に向けたドクタートークを実施した。	今年度においては、早期から地域医療を志す医師の育成・確保を進めるため、中高生、医学生、研修医等の各ステージに応じた医師確保対策を展開していく。 (1) 未来のあおもりを担う医療人材早期育成事業 ① ドクタートーク ② 医療チュートリアル体験 ③ 外科手術体験セミナー (2) 医学生・研修医の青森県内研修支援事業 ・へき地医療実習	3①②	
17	健康福祉部	医療業務課	医師臨床研修魅力発信・研修環境支援事業	2					18,115	20,499	臨床研修病院等との関係機関と協力し、臨床研修の魅力発信し、臨床研修医の確保に取り組むとともに、研修環境の質の向上を図り、若手医師の育成・定着に取り組んだ。	今年度においても、臨床研修病院等との関係機関と協力し、臨床研修の魅力発信し、臨床研修医の確保に取り組むとともに、研修環境の質の向上を図り、若手医師の育成・定着に取り組む。 ① 合同説明会 ② 臨床研修医セミナー ③ 臨床研修医ワークショップ	3①②③	
18	商工労働部	新産業創造課	未来を築く創造性豊かな産業人材育成事業	2					6,034	6,034	子どもの創造性を育成する発明クラブ等の地域団体への活動費の一部を助成するとともに、会員増や地域企業との連携等による自立化に向けた取組に対し助成した。 また、子どもたちの科学的探究心や創造力の開発・育成のため、「発明くふう展」と「科学の夢絵画展」を開催し、それぞれ128名、374名の応募があった。 本県の子どものものづくりや科学に対する興味・関心を引き出すため、企業・団体等との連携による「ものづくり・科学体験フェア」開催を予定していたが、コロナ禍の影響により開催困難となったため、これに代わる事業として県内5地区に指導員を派遣し科学工作教室を実施した。	子どもの創造性を育成する発明クラブ等の地域団体への活動費の一部を助成するとともに、会員増や地域企業との連携等による自立化に向けた取組に対し助成する。 また、子どもたちの科学的探究心や創造力の開発・育成のため、「発明くふう展」と「科学の夢絵画展」を開催する。 本県の子どものものづくりや科学に対する興味・関心を引き出すため、企業・団体等との連携により「ものづくり・科学体験フェア」を開催する。	1④	
19	商工労働部	新産業創造課	IT政策推進事業（ユビキタス出前授業）(R5年度～ DX推進課)	2					852	-	デジタル社会への理解を深めるため、小学生を対象とした最先端のデジタル技術を体験してもらう出前授業を開催し、27名の児童が参加した。（商工労働部新産業創造課にて実施） 実施回数：1回（西北管内）	-	1②	
20	商工労働部	労政・能力開発課	ジョブカフェあおもり推進・運営事業 【重点目標3、4に再掲】	2	3	4			94,107	94,100	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援するため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミナー等を実施した。  来館者：15,946人、就職者：2,240人	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援するため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミナー等を実施する。	3③	
21	商工労働部	労政・能力開発課	離職者等再就職訓練事業	2					661,832	611,773	民間教育機関等に委託し、73コース、受講者862名で職業訓練を実施した。 令和5年3月末現在、修了者442名、就職率73.7%。	引き続き、民間教育機関等を活用して、委託により多様な職業訓練（委託訓練）を機動的に実施することとし、令和5年度は、85コース、1,275名定員で訓練を計画している。	3②	
22	商工労働部	労政・能力開発課	訓練校事業	2					45,495	41,491	普通課程の職業訓練を実施し、令和4年度生の修了者数121名、就職者数121であった。 令和4年度生の入校者は126名であった。	県立職業能力開発校において、高卒者等に対し職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得するための職業訓練を実施し、県の産業界を担う技能者育成に取り組む。	3②	
23	商工労働部	労政・能力開発課	未来ものづくり人材確保・育成事業	2					1,831	1,741	①第17回若年者ものづくり競技大会には、7名が参加した。 ②第60回技能五輪全国大会には、4名が参加した。 ③高校生に県立職業能力開発校に対する理解を深めってもらうため、高校生対象の進学情報誌への学校紹介ページを掲載するとともに、進路ガイダンス及び会場ガイダンスにおいて県立職業能力開発校の案内等を高校生へ直接配布する機会を設けた。	技術者育成段階で更に技能水準を高め、より技能レベルの高い人材を社会に供給していくため、技能競技全国大会への参加支援やものづくりへの理解促進活動により、若年者の技能向上、社会全体の技能尊重気運の醸成を図る。 また、県立職業能力開発校の業務内容や役割及び魅力についての情報発信を強化するとともに、総務学事課主催の進学相談フェアに県立職業能力開発校のブースを確保し周知を図る。	3①②	

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点 事業	新規 継続	R4 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	令和4年度の取組状況	令和5年度の実施内容	施策の 方向性等
24	商工労働部	労政・能力開発課	若年者の県内定着促進事業	2				重点 事業	継続	17,052	17,052	県立工業高校及びその他高校で県内企業PRイベント等を開催し、222社の企業及び1,210名の生徒が参加した。 夏休み期間中にオンラインで親子企業見学会を開催し、150名(うち子ども86名)が参加し、県内4社を見学した。 若年女性向けに、県内の大学及び高校、県外のイベントに「あおり女子就活・定着サポーター」(あおりなでしこ)を派遣し、大学生等への講話や意見交換を行い、計395名の学生が参加した。	高校生をはじめ、本県の次世代を担う人財を幅広く対象として、県内就職の魅力や県内企業の情報を伝える取組を進め、県内定着の促進を図る。	3①③
25	農林水産部	農林水産政策課	食と生活を支える水循環システム保全活動促進事業	2				重点 事業	継続	5,698	5,968	健全な水循環システムを守る次世代の育成のため、小学生を対象とした校外学習会(9回)を実施したほか、水循環システムの理解を深める出前講座(2回)を実施した。	山・川・海をつなぐ水循環システムを保全していくため、小学生を対象とした校外学習会や、学習成果発表会の開催を通じて、次世代を担う人財を育成する。	1③
26	農林水産部	農林水産政策課	女性起業育成・経営発展支援事業	2					終了	3,116	-	女性起業の促進に向け、食品衛生法の改正や食品表示などについての講座、県内外の優良事例に関する講座(8回)を開催した。 また、本格的な起業を目指す農山漁村女性(5件)について、施設や機器の整備に係る経費を補助し、女性農林漁業者の経営力強化を図った。	-	3②
27	農林水産部	農林水産政策課	女性起業課題解決・活躍促進事業	2					新規	-	3,192	-	農山漁村女性起業家の活躍促進を図るため、実態や課題を把握するための調査を行い、基礎講座と課題解決のためのステップアップ講座を開催する。また、起業活動の経費を補助する。	3②
28	農林水産部	構造政策課	新規就農者育成総合対策(旧事業名:農業次世代人材投資事業)	2					継続	1,596,879	959,845	農業への人財の一層の呼び込みと定着を図るため、新たに農業経営を開始する者及び研修を受ける者に対する資金の交付や機械・施設等の導入等を補助するとともに、新規就農者への実践研修を行う協議会等を支援した。	農業への人財の一層の呼び込みと定着を図るため、新たに農業経営を開始する者及び研修を受ける者に対する資金の交付や機械・施設等の導入等を補助するとともに、新規就農者への実践研修を行う協議会等を支援する。	3②③
29	農林水産部	構造政策課	新規就農定着推進事業 【重点目標13に再掲】	2	13				継続	5,831	5,783	新規就農者や青年農業者を対象とした専門研修や集合研修を実施したほか、農村青少年クラブの活動を支援した。 また、関係機関と連携した新規就農相談及び各種就農支援を実施した。	新規就農者や青年農業者を対象とした専門研修や集合研修を実施する。また、農村青少年クラブの活動を支援することにより、地域活動をけん引するリーダーとしての資質向上やクラブ員間の交流を図る。 新規就農ガイドブックの作成、配布や関係機関と連携した新規就農相談及び各種就農支援を実施する。	2②、3①
30	農林水産部	構造政策課	あおり新農業人サポート事業 【重点目標13に再掲】	2	13			重点 事業	継続	33,444	22,715	新規就農者の確保・育成を図るため、オンライン方式を活用した就農フェア等の開催や非農家出身者の定着支援に取り組むとともに、本県農業の将来を担うリーダーを育成する若手農業トップランナー塾にレベルアップコースを新設し、研修内容を強化した。	新規就農者の確保・育成を図るため、オンライン方式を活用した就農フェア等の開催や非農家出身者の定着支援に取り組むとともに、本県農業の将来を担うリーダーを育成する若手農業トップランナー塾の研修内容を強化する。	3①③
31	農林水産部	林政課	青い森林業アカデミー運営事業	2					継続	37,286	37,149	林業への就業に必要な基礎的知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う人材を育成する1年間の研修を実施した。	林業への就業に必要な基礎的知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う人材を育成する1年間の研修を実施する。	3②

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目				重点事業	新規継続	R4 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	令和4年度の取組状況	令和5年度の実施内容	施策の 方向性等
32	県土整備部	監理課	建設業の未来を担う人づくり推進事業	2					4,110	4,110	建設業の魅力発信のため、小学生対象の建設現場を見学する親子バスツアーを開催したほか、建設業PRパネル展を実施した。 また、工業高校生と若手技術者との意見交換会や、建設技能者による先輩講演会を開催した。 さらに、高校1・2年生をメインターゲットに建設業のイメージアップを図るため、建設業イメージアップ動画をTVCM及び動画投稿サイト等で発信した。	建設業の魅力発信のため、小中学生を対象に親子バスツアーや土木技術公開講座を開催する。 また、工業高校生と若手技術者との意見交換会を開催するほか、中学生・商業高校生を対象に、建設業で働く先輩による講演会を開催する。 さらに、建設業イメージアップ動画をTVCM及び動画投稿サイト等で発信し、高校1・2年生をメインターゲットに建設業のイメージアップを図る。	3①	
33	教育庁	学校教育課	県立学校就職促進関連事業	2					1,217	1,217	高校生の就職促進に向け、経済団体、保護者、行政及び教育関係者による高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校生徒の就労意欲を育み、事業所側の雇用に対する意識を高めるため、産業現場等における実習を希望する生徒の賠償責任保険料及び職場開拓や巡回指導などに係る教員の旅費を助成した。	引き続き、高校生の就職促進に向け、経済団体、保護者、行政及び教育関係者による高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校生徒の就労意欲を育み、事業所側の雇用に対する意識を高めるため、産業現場等における実習を希望する生徒の賠償責任保険料及び職場開拓や巡回指導などに係る教員の旅費を助成する。	3③	
34	教育庁	学校教育課	高校生の就職総合支援プロジェクト事業	2					21,832	20,080	就職状況については、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなってきてはいるものの未だ先行きが不透明であり、就職内定率は依然として全国平均を下回る状況にあることから、事業を前年度から継続して実施した。 また、企画政策部、商工労働部との連携を強化し、高校生の県内就職を支援した。	就職状況については、就職内定率は依然として全国平均を下回る状況にあることから、引き続き職業人としての必要な能力や態度の育成、就職時における付加価値を高めるための取組などの事業を実施し、就職内定率の向上を目指す。 また、企画政策部、商工労働部との連携を強化し、高校生の県内就職を支援する。	3③	
35	教育庁	学校教育課	医師を志す高校生支援事業	2					20,871	18,599	医学部医学科を志す高校生の実力養成を図るとともに、教員の教科指導力を向上させることにより本県高校生の医学部医学科合格者数増加に向けた取り組みを支援した。 また、拠点校を中心とした学習セミナーにおいては、医師への志を確かなものとし、学習に向かう姿勢を期して、ワークショップを実施した。	引き続き、医学部医学科を志す高校生の実力養成を図るとともに、教員の教科指導力を向上させることを通じて本県高校生の医学部医学科合格者の増加を図っていく。 また、拠点校を中心とした学習セミナーにおいては、医師への志を揺るぎないものとし、学習に向かう姿勢の質的向上を図るために、ワークショップを実施する。	3①②	
36	教育庁	生涯学習課 (総合社会教育センター)	高校生スキルアッププログラム推進事業	2					190	190	高校生の知識や経験の幅を広げ、様々なスキルの向上を図るため、参加希望26校4,424名を対象として学校外における学修への取組を促進した結果、35名に対し奨励証を、60名に対し認定証を交付した。	高等学校との連携・協力体制を強化し、高校生に対し、活動の有用性の周知と幅広い学修活動から自由に選択して取り組めるよう各種学修情報を定期的に提供する。 また、上級学校の総合型入試選抜等に活用できる評価サービスを行い、高校生を支援する。	2①②	
37	教育庁	生涯学習課 (総合社会教育センター)	大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 【重点目標13に再掲】	2	13				995	995	中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるように、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生からの働きかけにより、中・高校生のやる気や意欲を引き出し、チャレンジする心を育むためのワークショップを、高校17校(1,976名)、中学校1校(53名)に対し実施した。	中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つけ直しにつながる大学生によるワークショップを、高校16校約2,200名の高校生、中学校1校約140名の中学生を対象に実施するとともに、大学生を対象とした研修会を行い、大学生のスキルアップを図る。	1④	

No.	部局名	課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	R4 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	令和4年度の取組状況	令和5年度の主な事業内容	施策の 方向性等
38	教育庁	生涯学習課	子どもの読書活動推進事業	2				継続	2,610	3,426	<p>中・高校生を対象として仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集する「大切なあなたへ薦める青春の一冊」コンクールを開催し（応募総数4,080点）、優秀作品を冊子やホームページ等で公開するとともに、公立図書館や書店に特設コーナーを設置するなど、あらゆる機会を通して広く周知し、中・高校生が本に親しむきっかけづくりに取り組んだ。</p> <p>広く県民が子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、「子どもの読書活動推進大会」を八戸市で開催した（参加者200名）。今年度も「あもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」コンクールの表彰式と最優秀賞及び優秀賞を受賞した生徒による本の紹介を行い、子どもの読書活動推進に係る関係者に本事業の一環である取組を周知した。</p> <p>子どもの読書活動推進計画の未策定市町村を訪問し、計画策定が進むように情報提供及び意見交換を行った。</p> <p>啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」の改訂に向けて編集委員会を発足し、改訂作業を行った。また、啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」を18団体に合計3,040冊提供した。</p>	<p>中・高校生の自主的な読書活動推進に重点を置いた取組として、引き続き、「あもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」コンクールを開催するとともに、広く県民が子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、「子どもの読書活動推進大会」を開催する。</p> <p>子ども読書活動推進計画の未策定市町村を訪問し、計画策定が進むようにする。</p> <p>啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」の改訂第7版を発行し、乳幼児期からの家庭における子どもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るとともに、読み聞かせや保護者向け研修会で活用する。</p>	1①
39	教育庁	生涯学習課	青少年教育施設主催事業（※人件費を含む）	2				継続	201,781	217,224	<p>少年自然の家において、各種主催事業（延べ参加者数2,963名）及び活動支援事業等（延べ参加者数13,253名）を実施し、自然を体験する場の提供や体験活動の拡充を行った。</p>	<p>野外における体験的な学びを通して、自然に親しむ態度や豊かな心を育むために、受入事業、各種主催事業等の充実を図り、多様な自然体験の機会を提供する。</p>	1③④、2②